

教員履歴書及び教育研究業績書の記入上の留意点

1. 履歴書

1. 年月日は、すべて元号を用いてください。
2. 「年齢」は、記入日現在の満年齢で記入してください。
3. 「学歴」は、大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴のすべてについて記入し、その他の者は、最終学歴について記入してください。
4. 博士課程を出て未だ博士号を取得していない者の学歴は、「博士課程単位取得満期退学」と記入してください。
5. 大学の別科、専攻科については「学歴」欄に研究生、聴講生等は「職歴」欄に記入してください。
6. 学位、称号の他、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても「学歴」欄に記入してください。この場合、登録番号も付記してください。
7. 外国における資格については正確に記入するとともに、その資格の内容について併記してください。
8. 外国留学については、学生としての留学の場合は「学歴」欄に、研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記入してください。
9. 「職歴」は、職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記してください。なお、過去における大学設置・学校法人審議会(旧大学設置審議会を含む。)の教員組織審査において教員の資格があると認められた者は、同欄に当該教員組織審査に係る大学名、審査の年月、専任・兼任・兼任、職名及び担当授業科目名(大学院にあつては、判定結果(◎・合・可)を記入してください。)
10. 「職歴」は、各職歴について、在職期間が明確になるように記入してください。なお、現職については必ず「現在に至る」と明記してください。
11. 自営業、主婦、無職等についても省略しないで「職歴」欄に記入してください。(16.において同じ。)
12. 大学の教員の職歴については、主な担当科目を()で付記してください。
13. 担当(審査対象)科目に直接関係のある職歴については、できるだけ具体的に記入してください。(例 看護学科の教員で看護婦経歴のある者の当該看護婦時の勤務病棟等)
14. 「学会及び社会における活動等」は、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入してください。なお、所属学会名は正確に記載してください。
15. 「職務の状況」は、記入日現在における職務の状況について記入してください。なお、教員以外の者の場合の職務の状況については、勤務先、職名の欄のみ記入するとともに、現在の職務内容を「備考」欄に簡潔に記入してください。
16. 「職務の状況」欄の「毎週担当授業時間数」は、当該科目が春学期(前期)のみ又は秋学期(後期)のみの開講の場合は春学期(前期)又は秋学期(後期)の時間数を、集中講義の場合は総時間数を記入し、「備考」欄にその旨を記入してください。
17. 外国人の場合は、母国語で記入して差し支えないが、その場合は訳文を添付してください。
18. 「氏名」の欄の捺印は、外国人の場合等本人の署名をもって代えることができます。
19. 採用(応募)の場合は、写真(縦4cm×横3cm・単身・胸から上)を貼り付けてください。

2. 教育研究業績書

1. 年月日は、すべて元号を用いてください。
2. 「教育上の能力に関する事項」の「5 その他」欄には、1から4に該当するもの以外の事項について幅広く記入してください。
3. 「職務上の実績に関する事項」の「5 その他」欄には、1から3に該当するもの以外の事項について幅広く記入してください。
4. 「著書、学術論文等の名称」は、著書、学術論文及びその他の順に適切に区分し、それぞれ年月日順(過去→現在)に、番号を付して記入してください。
5. 「概要」には、著書、学術論文等の概要及び頁数について、各著書、学術論文等ごとに200字程度、明確かつ簡潔に記入してください。なお、共著の場合は、本人の担当部分の概要及び掲載頁(例 P〇〇～P〇〇)を明記し、また、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順に記入してください。
6. 共著の場合で本人の担当部分を抽出するのが困難な場合は、その理由を明記してください。(例 共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
7. 一冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著として整理してください。
8. 学位論文については、その旨明確になるよう記入してください。
9. 発表学会誌等は、その名称の他、巻・号等まで明記してください。
10. 学会誌等において発表予定のものについては、その旨を明記し、証明書を添付してください。なお、投稿予定のものは含めないでください。
11. 「氏名」の欄の捺印は、外国人の場合等本人の署名をもって代えることができます。